

相愛大学研究シーズ集

シーズ名	境界で生きる人を対象とした支援の理論化
所属	人間発達学部子ども発達学科
氏名	松島 京
<p>【概要】</p> <p>これまでの家族関係領域での課題や出来事に対する支援は、既存の家族枠組みをベースとして行われてきました。しかし、家族の多様化は進み、従来の家族枠組みに当てはまらない人は増加しており、何らかの支援を必要としながらも支援の対象からこぼれていく境界で生きる人たちは、今後ますます増加していくことが予想されます。今後の保健・医療・福祉現場の援助職者は、そのような可視化しづらい課題を捉え対応することが求められるでしょう。その際に、課題を捉え対症的にその都度支援をするのではなく(新しい課題や緊急の課題には即時対応が求められますが)、今後の社会変動にも柔軟に対応し得るような理論枠組みをもった支援のあり方も必要になると考えます。</p> <p>現場の観察と当事者・援助者への聞き取り・諸外国における現状視察等からデータを蓄積し実証的に研究を進めていき、社会学の諸理論を応用しながら、「境界で生きる人を対象とした支援」として普遍的なものとなるよう理論化していきたいと考えています。</p>	
キーワード	対人援助(ケア)、当事者支援、家族支援、権利保障